日本赤十字社 千葉県支部
Japanese Red Cross Society
http://www.chiba.jrc.or.jp E-mail:info@chiba.jrc.or.jp

赤十字NOW 千葉

November 2013 Vol.26

発行所 / 日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812

GOOD SMILE は GOOD DESIGN

～夢つくり隊プロジェクト in相馬市～

GOOD DESIGN AWARD 2013

KIDS DESIGN AWARD 2013

被災地支部からの要請により、復興に取り組む東北地域の子どもたちに「夢と元気」を届けようと結成された教育支援チーム「夢つくり隊」。

日本赤十字社千葉県支部と千葉県立美術館の異業種コラボで、2012年8月の釜石市をスタートに、美術教室を遠距離出前すること4回。2013年夏は、福島県内を2回キャラバンしました。

創作活動によって、復興と向き合う子どもたちの「こころの健康維持」に取り組む活動は、行く先々で、子どもたちの笑顔と自信溢れる作品を創り出しました。

夢つくり隊の事業は、形のない優れたコミュニケーション活動として、2013年 GOOD DESIGN賞を受賞しました。 （2面に特集記事）

CONTENTS November.2013 vol.26

2 夢つくり隊プロジェクト in 相馬市 ～4回目の出前美術教室～
3 千葉県赤十字奉仕団 創設65周年特集 ～赤十字奉仕団誕生物語～
4 九都県市合同防災訓練 海保の大型巡視船内で救護とトリアージ
5 ○青少年赤十字の中学生・高校生8人が学んだ実践的防災学習会in釜石
○平成24年度 日本赤十字社千葉県支部 一般会計歳入歳出決算のご報告
6 ○Hot news 赤十字救急法フェスタ2013
○お知らせ 超人気の CroKuma シリーズ

特　集　夢つくり隊プロジェクトin 相馬市　～4回目の出前美術教室～

福島県支部からの要請に基づいて、東日本大震災からの復興に取り組む、福島県相馬市の子どもたちに「夢と元気」を届けようと、日本赤十字社千葉県支部と千葉県立美術館の合同チーム「夢つくり隊」が9月10日（火）、福島県相馬市の市立飯豊（いいとよ）小学校で出前美術教室を行いました。

夢つくり隊の活動は2012年夏、岩手県釜石市でスタートし、今回で4回目。プログラムは、画用紙に水彩絵の具で描いた抽象表現をバッジに加工する「虹色パレット缶バッジ」の制作と、大小の円形厚紙「夢ビルダーカード」によるオブジェ創作です。

自分の好きな色で描いた抽象画が缶バッジに変身すると、「わーっ、きれい」「新しい洋服に着けてみたい」と教室中に笑顔があふれます。中には金メダルのようなバッジや、七色の虹のバッジも。真剣なまなざしで、作品作りに取り組む子どもたちのパレットと、こころは素敵な虹色に染まっていきます。

大小12,000枚の夢ビルダーカードを使った創作活動のテーマは、「夢のまちをつくろう」。約100人の子どもたちは広い体育館をいっぱいに使い、友達と協力し合いながら思い思いの形作りに挑戦しました。

虹色に染まるパレットと画用紙

僕のGOOD DESIGN!

先生も本気だよ!

子どもたちの心を芸術で解きほぐす

震災当時、飯豊小学校の間近まで津波が押し寄せ、自宅や親類を失った子どももいます。一時は全校児童の一割強が仮設住宅などで不自由な生活を強いられました。

高橋誠校長は「子どもたちが心の中に閉じ込めたものを発散させようと、全校で芸術活動に取り組んできました。それによって笑顔になることが大事。今日の子どもたちは心から笑っています。本当にありがたいですね」。

夢つくり隊隊長の福田誠同美術館普及課長は「静かに自分と向き合い、次に友達と協力して何かを作るという『静と動』のプログラムが、こころを解放します。創作した作品を前に、子どもたちは、自信と自己効力感（自分が何か出来る感覚）を持ち、これからの地域づくりにつながっていけば」と期待します。

夢つくり隊プロジェクトは、海外の赤十字社などから寄せられた東日本大震災海外救援金を財源にした「日赤キッズクロスプロジェクト」の一環です。

トピックス　日本赤十字社初のW受賞

2013年 GOOD DESIGN賞、2013年 KIDS DESIGN賞

夢つくり隊プロジェクトは、子ども達の明るい未来に貢献し、復興に取り組む地域との優れたコミュニケーション活動で、形のない復興支援デザインと評価されました。

GOOD DESIGN AWARD 2013
http://www.g-mark.org/

KIDS DESIGN AWARD 2013
http://www.kidsdesignaward.jp/2013/

GOOD DESIGN賞審査員評価

人道機関と芸術機関の協働によって被災地の子どもたちに「心のケア」を提供する本活動は、震災2年が経過した現在でも必要な取り組みと思われる。本活動は心との対話を基本テーマとしたプログラムにより実施されており、特に「夢ビルダーカード」を使ったオブジェ創作活動などは、被災地の事情を理解したワークショッププログラムとして評価した。「心のケア」は福島を含め被災地において重要な課題であり、本活動がさらに発展し継続されることを期待したい。

千葉県赤十字奉仕団創設 65 周年特集

すべての人々の幸せを願い、陰の力となって 赤十字奉仕団誕生物語

当社の前身、博愛社から日本赤十字社に改称した明治20年（1887年）、皇族、華族その他の名流婦人を中心として、全国の婦人赤十字社員の有志からなる「篤志看護婦人会」（初代幹事長　有栖川宮熾仁親王妃殿下）が設立され、災害時の救護、病院の経営、看護婦の養成など、日本赤十字社の事業を支える活動が行われていました。

明治以来、赤十字事業の強力な柱となって活躍してきた、篤志看護婦人会は昭和20年（1945年）、60余年の活動の歴史に終止符をうって解散しました。

激動を象徴する先の大戦が終結したその年、新しい時代の奉仕者組織をどのようにして作り上げていけばよいのか。日本赤十字社は大きな課題に直面していました。

GHQの占領政策、アメリカ赤十字社のバックアップ

日本の戦後改革を促進し、平和国家としての再建を一日も早く達成することを、占領政策の根本にすえていたＧＨＱ（連合軍総司令部）は、日本赤十字社の再建に大きな関心を寄せていました。ＧＨＱは、再建策として第一線組織の整備を早急に進めるべく、日本赤十字社にアメリカ赤十字社派遣の顧問団を介し、アメリカにおける奉仕者グループの実態を紹介しました。

「赤十字会」組織の機運

アメリカ赤十字社のバックアップが契機となり、奉仕者組織結成の機運が盛り上がり、昭和22年（1947年）5月には、地域的な篤志者の集まりである「赤十字会」を組織するための手引書が作成され、各支部に配付されました。

同年10月に制定された災害救助法により、日本赤十字社は国の災害救護業務の一部を委託されましたが、この救助活動に篤志者が参加できるよう、先の赤十字会案に修正を加えて、「日本赤十字社奉仕団要領」を定め、全国の市町村に地域奉仕団、職域・クラブ、教会などを基盤とする職域奉仕団、学校を単位とする学生奉仕団を組織することにしました。

奉仕団の母　マーガレット・グーチ女史

その後、アメリカ赤十字社が新たに派遣してきたマーガレット・グーチ女史の活躍は忘れることが出来ません。

女史は、社会調査として全国の地方の実態調査を行い、奉仕活動の必要性（ニーズ）を確認しました。その調査結果を基に、「奉仕団事業通報」（１号～7号）を発行し、翌23年2月の参事会（現在の支部事務局長会議）に諮ったうえで、これを手引きとして奉仕団結成を進めることになりました。

さらに女史は、全国各支部を巡回して、赤十字奉仕団の結成状況の視察と、各地における奉仕団指導者訓練会議を開催し、赤十字奉仕団の結成とその活動を奨励しました。

各地で結成される赤十字奉仕団

グーチ女史の精力的な地方巡回が奏功し、全国の支部を中心に指導者訓練会議が開催されるようになり、昭和23年11月時点には、全国28支部で1,098団が結成され、団員数は655,229人に達していました。

災害地に義援金品を発送する千葉県赤十字奉仕団

待望の千葉県赤十字地域奉仕団の誕生

千葉県支部では、本社の奉仕団結成運動に呼応して、昭和23年5月、本社主催の「奉仕団指導者訓練会議」に出席し、その議事内容に基づき、同年7月、第一回「指導者講習会」を支部主催で行いました。その後、郡・市町村でも指導者講習会が開かれ、各地に赤十字奉仕団が次々に誕生していきました。

昭和27年には、千葉県赤十字奉仕団第一回総会を開催するに至りました。2年後の昭和29年4月には、千葉市教育会館を会場に、日本赤十字社名誉副総裁秩父宮妃殿下ご臨席の第三回総会を盛大に開催するなど、赤十字奉仕団はその組織基盤を強固にしていきました。

昭和23年、県内初の奉仕団の結成から65年、赤十字奉仕団は、すべての人々の幸せを願い、陰の力となって、時代のニーズにあった人道的活動に取り組んでいます。

記事出典
日本の赤十字　昭和 30 年 8 月 20 日　日本赤十字社発行
人道・博愛―百年のあゆみ　平成 5 年 3 月　日本赤十字社千葉県支部発行

マーガレット・グーチ女史　写真中央　元アメリカ赤十字社奉仕部長

千葉県赤十字奉仕団
総会の様子
1年間の活動を決めます

事業の原資となる
赤十字募金も街頭で

首都直下型地震想定 九都県市合同防災訓練

「防災の日」の平成25年9月1日に行われた、首都圏の1都3県と5つの政令指定都市による九都県市合同防災訓練。今年は首都直下型地震に備え、津波対策や避難所開設・運営、帰宅困難者対策などの実践的な訓練に128機関、11,000人が参加しました。

千葉市蘇我スポーツ公園一帯をメイン会場とする、災害発災対応型訓練は、安倍内閣総理大臣が視察する中、千葉市赤十字奉仕団が全面協力し、約2,000食の災害包装食の炊き出し訓練が行われました。

日赤救護班は、倒壊した建物や、クラッシュした車両から救出された人々の応急救護にあたるなど、発災直後の医療救護活動を行いました。

千葉市赤十字奉仕団が行う災害包装食の炊き出しを視察する安倍内閣総理大臣

海上訓練では千葉海上保安部と連携

一方、千葉港の千葉中央埠頭で行われた海上訓練は、地震により石油コンビナートや係船中の船舶で火災が発生し、付近の海上には沿岸部から転落した多数の人が漂流しているとの想定で行われました。

千葉市内の医療施設が壊滅的な被害を受けた場合を考慮し、日赤救護班は負傷者搬送の中継基地となった大型巡視船「いず」（3500トン）に小型の巡視艇で移動。船内に設けられた仮設診療所で海上から救出された負傷者のトリアージ（治療優先度の選別）と応急処置を行い、巡視船のヘリポートに待機しているヘリコプターで重篤患者を緊急搬送する訓練を実施しました。

災害時、海上の仮設救護所となる「いず」の大会議室には酸素吸入装置や簡易担架が備えられ、最大で一度に60人の収容が可能です

揺れとの戦い　巡視船への乗船

関係機関の通信体制も検証

救護班の一員として船内で救護訓練を行った成田赤十字病院の板寺英一医師は「やけどによる負傷者は気道熱傷により突然症状が重くなるケースがあり、トリアージの判断が難しい。コンビナート火災による負傷者の救護という前提でしたから、そうした点にも留意しながら取り組みました」と訓練に臨んだ姿勢を強調。その上で、「巡視艇から『いず』に乗り移るだけでも大変だったが、実際の災害時に船上で救護活動を行う際は波による大きな揺れも想定しなければならないはず」と課題を指摘しました。

千葉海上保安部の林一馬警備救難課長は「大災害時には警察や消防、海保などさまざまな機関が連携し、それぞれの得意分野で力を発揮していくことが重要。海保ならば海上の機動性、日赤ならば医療救護です。その力を発揮していくためには連絡体制の構築が重要」と指摘。「今回の訓練を通じ、海保と日赤との間で連絡と連携がスムーズに行えることを確認できました」と総括しました。

海保の機動力と日赤の医療で被災者を救う

私たちは震災を風化させない

青少年赤十字の中学生・高校生8人が学んだ実践的防災学習会 in 釜石

巨大津波の襲来を受けながらも、市内の小中学生の99.8%が助かり、「釜石の奇跡」として注目された岩手県釜石市。

2013年8月5日～6日の2日間、青少年赤十字メンバー代表の8人は、釜石市を訪問し、市職員や同市教育委員会の職員の体験談に耳を傾け、釜石市の子どもたちが辿った避難経路を使い、津波から身を守った人々の「命の行動」を体験しました。

この実践的防災学習会は、夢つくり隊プロジェクトの釜石市訪問がご縁で、釜石市と同市教育委員会の全面協力でプログラムが実現したもので、釜石港の現在の見聞や、多くの生命が失われた鵜住居地区防災センター跡の訪問と慰霊、市内小学校で行われている防災学習の実際を学びました。

震災直後、自らも被災しながらも、避難所の運営や住民援護に携わった釜石市職員の想像を絶する激務の様子や、震災を今後の防災対策に活かす姿勢に触れたメンバー達は、衝撃を受けながらも、自身の防災に対する考えを改める問題として受け止めていました。

防災センターでの慰霊

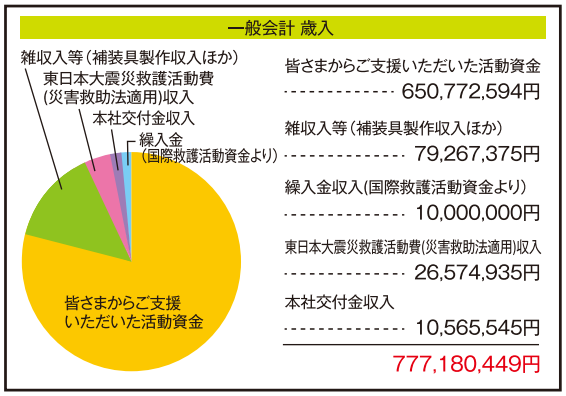
「釜石市の皆さんから教えてもらったことはたくさんある」と宇田川友希（ゆうき）さん（千葉県立松戸向陽高校三年）。「すべてを伝えられないかもしれないが、少しでも震災の実態を知ってもらい、自分たちにできることを考えるきっかけにしたい」と震災を風化させない決意を語ります。

代表の8人は、それぞれの学校や地域で、釜石市での防災学習会で学んだことを報告しながら、千葉県内の青少年赤十字メンバー約44,000人に対してニュースレターを発行するなど、防災意識の喚起と震災風化防止の世論形成に努めていく予定です。

壊れた防波堤は12m

心に残る小走りの避難体験

平成 24 年度　日本赤十字社千葉県支部　一般会計歳入歳出決算のご報告



日頃から県民の皆さまには赤十字の活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

おかげさまで、皆さまのご支援により、様々な人道的な事業・活動を行うことができました。

この紙面をお借りして心から御礼申しあげます。

今後も業務の効率化を図りながら、赤十字事業の充実と発展に努めてまいりますので、皆さまの更なるご支援とご協力をお願い申しあげます。

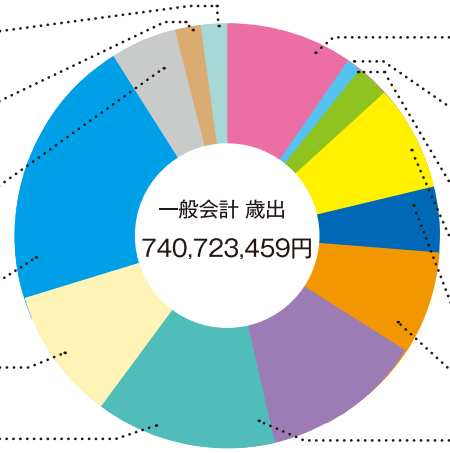
一般会計

歳　入 777,180,449円　　歳　出 740,723,459円

差引額　36,456,990円

※赤十字病院、血液センターについては、別会計となっております。

一般会計 歳出



赤十字奉仕団による活動に 27,860,884円
- 地域のニーズに応じた高齢者施設や在宅訪問、子育て支援の活動
- 若年層への献血思想普及活動　・地域での防災活動、防災訓練への参加

青少年赤十字活動に 27,768,064円
- 思いやりの心を行動に移すための指導者（教師）やメンバー（生徒）の研修会
- バングラデシュ、佐賀県、熊本県などへ代表の派遣　・防災学習の開催

社会福祉事業の推進に 48,096,080 円
- 義肢、補装具の製作修理（574件）　・出張相談及び訪問相談（937人）

赤十字精神と社旨の普及に 103,485,340 円
- 「人間を救うのは人間だ」の呼びかけを中心に広報活動を全県下で展開
- 284,428人と12,781法人、団体の皆様が赤十字社員に加入
- 支部創立120周年記念千葉県赤十字大会の開催

地域における赤十字活動 に 77,692,000円
- 市区町村（地区・分区）での、地域のための赤十字活動と広報活動

全国的な赤十字事業に 84,785,424円
- 全国的な赤十字事業、活動のため本社へ送金

災害救護体制の充実・強化に 74,811,641円
- 救護要員研修及び救護要員訓練に延べ410人参加　・救護装備の整備
- 支部災害救援物資備蓄倉庫を柏市に建設
- 防災ボランティアの体制強化

国際救援活動に（本社が行う、救援活動に参加） 10,000,000円
- ネパール及びバングラデシュ青少年教育支援事業　・カンボジア地雷犠牲者支援事業
- ウガンダ母子保健事業

健康・安全のための知識と技術の普及に 32,945,938円
- 40,613人に救急法等講習会を実施

救急医療機器の整備、看護師養成に 68,087,266円
- 救急医療機器の整備　・24年度99人の看護学生を養成

血液事業に（安全な血液を提供するため） 45,586,902円
- 移動採血バスの整備　・津田沼献血ルームの新築移転

管理業務費に 67,093,329円
- 赤十字会館修繕保守管理

各事業共通運営費に 72,510,591円
- 備品、消耗品、光熱水費、通信運搬費

赤十字救急法フェスタ2013
約1,500人が救命技術を競う 全国一のメガ救急法コンテスト開催

白熱する応援合戦　92通りの応援

◀課題A　三角巾レース
スピードと正確さが求められます

▶事故を想定した課題
技術の総合力が試されます

10月9日（水）、千葉県「赤十字救急法フェスタ」実行委員会（落合準子実行委員長）では、千葉県総合スポーツセンターを会場に、赤十字ボランティア（高校生含む）が救急法の技術を競う赤十字救急法フェスタを開催しました。

このフェスタは、今年で創設65周年を迎える千葉県赤十字奉仕団が企画を進め、楽しみながら、救命･応急手当の知識と技術を高めていこうというものです。

県内各地の赤十字地域奉仕団、特別奉仕団、青少年赤十字採用校などから92チーム約1,500人（運営スタッフ含む）が参加し、5人1組で傷病者の手当をしていく三角巾を使った包帯リレーや、10人1組で事故想定に基づいて患者の応急手当･搬送を行うレースで、救急法の技術を競い合いました。

三角巾を使った包帯リレーは、開き三角巾を使用した初級者向きの課題Aと、たたみ三角巾を駆使して肩などを保護する中級者向きの課題Bと、2つの出題が設定されていました。参加チームはそれぞれの習熟度に応じて競技にエントリーし、救急法の技術を披露しました。

課題A部門では、参加48チームの中から君津市赤十字奉仕団小櫃分団が、驚異的な2分15秒台のタイムと、正確な処置で見事優勝を飾りました。君津市赤十字奉仕団は、同じく課題B部門でも、同秋元分団が2分44秒台のタイムと正確な処置で優勝し、A･B併せてW優勝の栄冠に輝きました。

県内各地から大型バスで会場に駆けつけた応援チームは選手を支え、会場では、参加チーム92通りの応援合戦が繰り広げられました。

お知らせ

新商品続々登場

超人気のCroKumaシリーズ

人の気持ちを優しくし、癒してくれる「くま」のぬいぐるみ。
CroKumaとは、「赤十字とみんなの気持ちをクロスするくま」から名付けられました。

昭和初期の着こなし

現代の着こなし

大正時代に、看護婦生徒の制服として採用された濃紺ワンピース。モダンかつ清楚なデザインは、昭和・平成と受け継がれ、看護学生の正装として長く愛されています。

CroKuma 女子救護員制服 限定1,000個

価格 1,800円（税込）　送料567円（税込）

■サイズ　約20cm
■発売予定　平成25年11月下旬

CroKuma(くろくま)の商標登録を取得しています
登録商標第5344136号

ご購入を希望される方は、直接㈱日赤サービスまでお申込みください。
（ご照会・ご注文は）㈱日赤サービス　Tel 03-3437-7514（商品担当）
http://www.nisseki-service.com/
または　日赤サービス　検索